



ケーブルとコネクタ

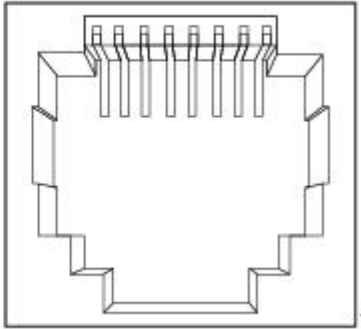
- コネクタの仕様 (1 ページ)
- ケーブルおよびアダプタ (4 ページ)

コネクタの仕様

10/100/1000/2500 ポート

スイッチ上の 10/100/1000 イーサネット ポートには RJ-45 コネクタを使用します。

図 1: 10/100/1000 ポートのピン割り当て

Pin	Label	1 2 3 4 5 6 7 8
1	TP0+	
2	TP0-	
3	TP1+	
4	TP2+	
5	TP2-	
6	TP1-	
7	TP3+	
8	TP3-	

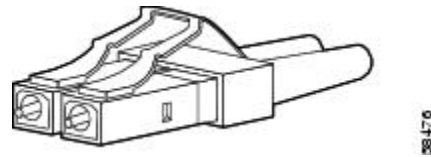


(注) コネクタ ピン 1、2、3、および 6 が PoE に使用されます。8 個のピンがすべて 4PPoE に使用されます。

SFP モジュールコネクタ

次の図に、SFP モジュールスロットで使用する LC 型コネクタを示します。これは、光ファイバケーブルコネクタです。

図 2: 光ファイバ **SFP** モジュールの **LC** コネクタ



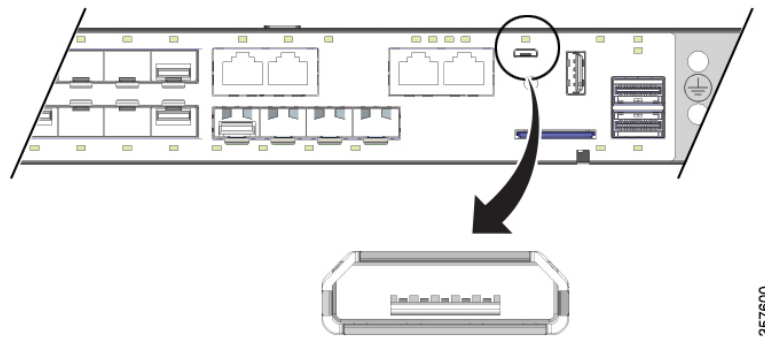
警告 ステートメント 1051 - レーザー放射

接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。

コンソールポート

スイッチにはコンソールポートとして、USB マイクロタイプ B ポートと RJ-45 コンソールポートの 2 つが前面パネルにあります。

図 3: **USB** マイクロタイプ **B** ポート

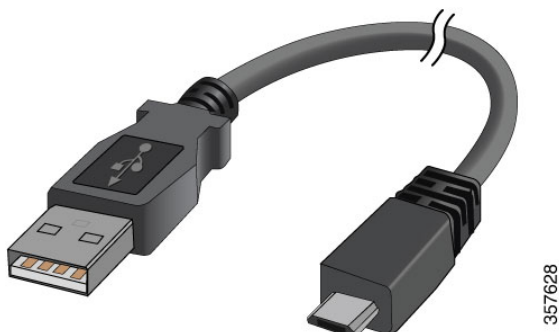


USB コンソールポートには、次の図に示す USB Type A から 5 ピン mini-Type B へのケーブルを使用します。USB マイクロタイプ A から USB mini タイプ B へのケーブルは提供されません。



(注) Linux を実行している場合は、**Screen** ではなく、**Minicom** を使用して USB コンソールにアクセスします。

図 4: USB Micro Type A から USB 5 ピン Micro-Type B へのケーブル

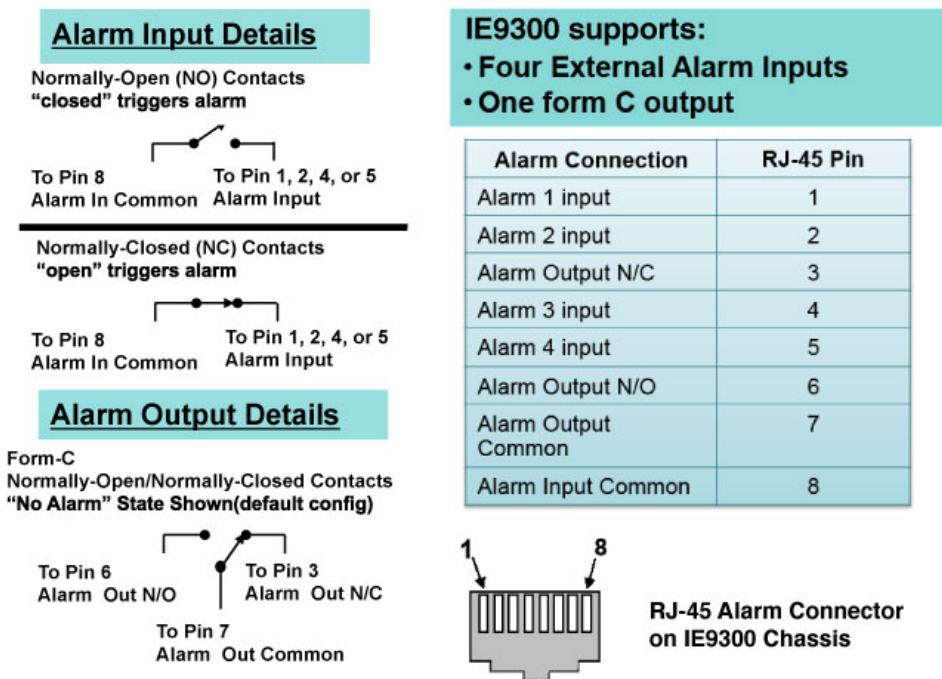


RJ-45 コンソールポートでは 8 ピン RJ-45 コネクタを使用します。付属の RJ-45/DB-9 アダプタケーブルは、スイッチのコンソールポートとコンソール PC の接続に使用します。

アラームポート

アラームポートには RJ-45 コネクタが使用されています。

図 5: アラームポートの詳細



詳細については、[アラーム](#)と「アラーム電力定格」の項を参照してください。

ケーブルおよびアダプタ

SFP モジュールのケーブル

各ポートはケーブルの両端の波長仕様が一致している必要があります。また、通信の信頼性を高めるため、ケーブル長は制限値を超えないものとします。

SFP/SFP+ モジュールおよびケーブルの詳細については、Cisco.com の [トランシーバモジュール](#) を参照してください。

コンソールポート アダプタのピン割り当て

コンソールポートでは 8 ピン RJ-45 コネクタを使用します。コンソールケーブルを注文しなかった場合は、RJ-45/DB-9 アダプタケーブルでスイッチのコンソールポートと PC のコンソールポートを接続する必要があります。

次の表に、コンソールポート、RJ-45/DB-9 アダプタケーブル、およびコンソール装置を示します。

表 1: コンソールポートアダプタのピン割り当て (RJ-45/DB-9)

スイッチ コンソールポート (DTE) 信号	RJ-45-to-DB-9 ターミナルアダプタ DB-9 ピン	コンソール装置 信号
RTS	8	CTS
DTR	6	DSR
TxD	2	RxD
GND	5	GND
RxD	3	TxD
DSR	4	DTR
CTS	7	RTS

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。